

# 株式会社ベネッセビジネスメイト 障がい者雇用拡大への取り組み



障害者活躍企業  
厚生労働省2017

株式会社ベネッセビジネスメイトは、  
ベネッセグループの障がい者雇用を目的とした特例子会社です。



2016年度障害者雇用支援月間ポスター原画展  
厚生労働大臣賞受賞作品

- 2013~18年 東京都優秀勤労障害者努力賞受賞
- 2016年 岡山県優秀勤労障害者表彰
- 2017年 Good Job Award 準大賞受賞  
「大学と企業の関係による就労支援」(明星大学とのコラボ)
- 2018年 アビリンピック全国大会2名出場
- 2018年 障害者活躍企業認証 (厚生労働省委託事業)

(株)ベネッセビジネスメイト 櫻田 満志

はたらく、  
かがやく、  
未来をそだてる

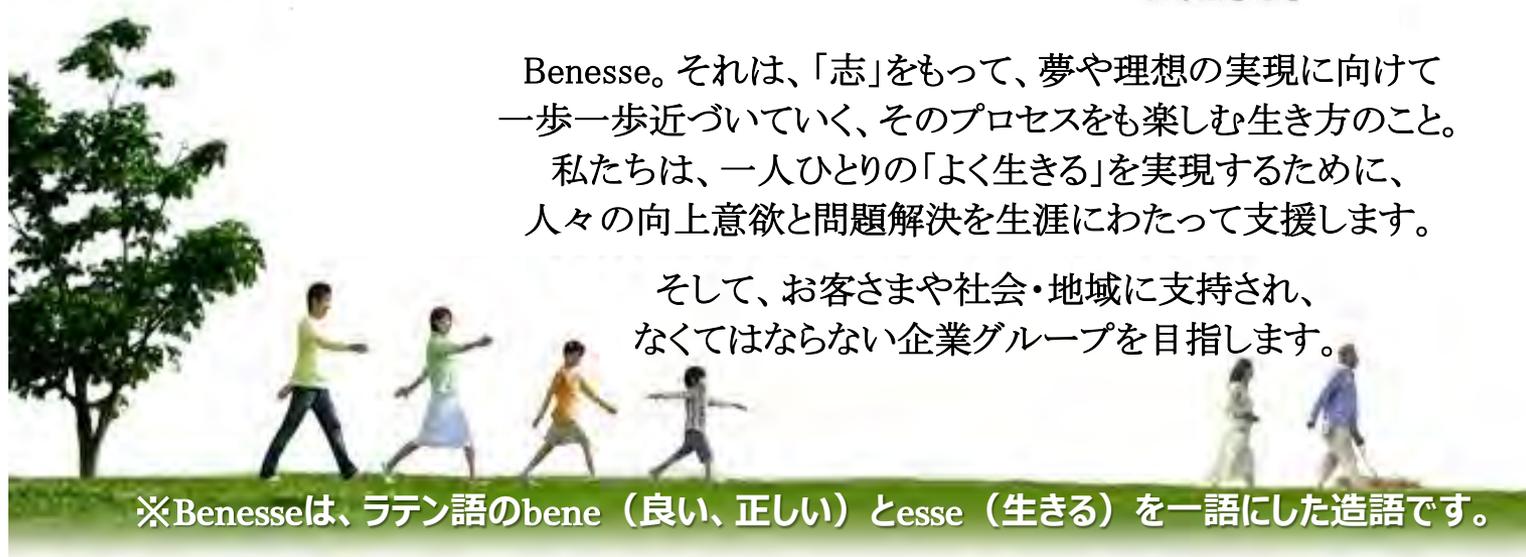


## ベネッセグループ企業理念

bene (よく) + esse (生きる) = **Benesse**  
「よく生きる」

Benesse。それは、「志」をもって、夢や理想の実現に向けて  
一步一步近づいていく、そのプロセスをも楽しむ生き方のこと。  
私たちは、一人ひとりの「よく生きる」を実現するために、  
人々の向上意欲と問題解決を生涯にわたって支援します。

そして、お客さまや社会・地域に支持され、  
なくてはならない企業グループを目指します。



※Benesseは、ラテン語のbene (良い、正しい) とesse (生きる) を一語にした造語です。

## 「よく生きる」を 実現する事業 領域

国内教育

海外事業

介護・  
保育

語学

その他



アリア くらら  
ベネッセの 保育園



**Berlitz**  
Speak with Confidence

**SIMUL**  
SIMUL INTERNATIONAL, INC.



## 所在地

- 本社 東京都多摩市落合1-34 ベネッセコーポレーション東京ビル内
- 岡山事業所 岡山県岡山市北区南方3-7-17 ベネッセコーポレーション本社ビル内

## 設立

2005年2月2日（2005年4月1日業務開始）

## 資本金

5,000万円

## グループ適用 関係会社

(株)ハネッセホールディングス、(株)ハネッセコーポレーション、(株)ハネッセスタイルケア、(株)ハネッセインフォシエル、(株)ハルリッツ・ジャパン、(株)東京個別指導学院、(株)進研アド、(株)アップ、(株)ハネッセMCM、(株)ハネッセビブスタジオ、(株)サイマル・インターナショナル、(株)直島文化村、(株)ハネッセ・ハースコム、(株)ラース、(株)ハネッセソシアス

## 事業内容

	東京					岡山		
	多摩	新宿	初台	神保町	新宿モリス	南方	高柳	長船
メールサービス（郵便物・荷物の仕分け・個人までのデリバリー）	●	●	●	●	●	●	●	
クリーンサービス（オフィス清掃）	●					●	●	●
OAセンター（大型PCセンター）	●	●				●		
オフィスサービス（総務サービス）	●	●	●	●		●		
アシスタントサービス（アルバイトセンター）	●	●						
マッサージサービス	●	(●)						
スタードーム（プラネタリウム運営）	●							
（スタッフ部門）	●					●		



ベネッセコーポレーション  
東京本部ビル



ベネッセコーポレーション  
岡山本社ビル

# 障がい者雇用の状況(2018年4月1日現在)



拠点	知的障がい	精神障がい	発達障がい	身体障がい				障がい者計		健常者計		従業員計		
				肢体不自由	視覚障がい	聴覚障がい	内部障がい	正社員 契約社員	パート	正社員 契約社員	パート	正社員 契約社員	パート	総合計
東京	49	14	14	6	3	6	1	90	3	47	67	137	70	207
岡山	25	11	8	5	1	3	1	53	1	19	2	72	3	75
全社	74	25	22	11	4	9	2	143	4	66	69	209	73	282

## 平均年齢

全社員	34.4 才
障がい者社員	32.6 才

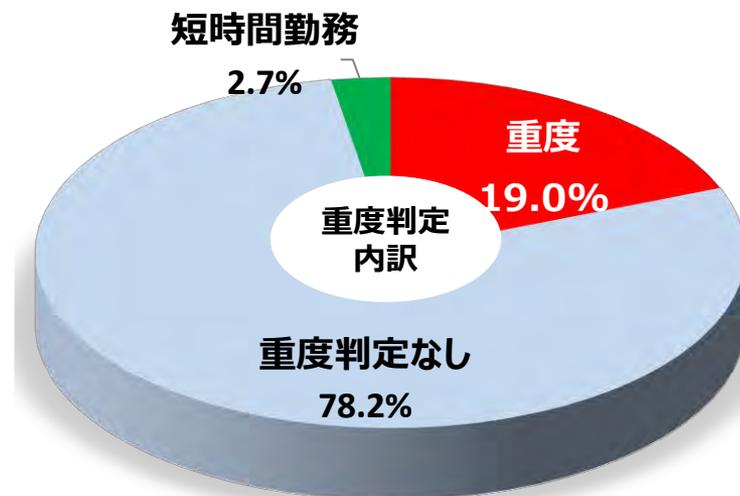
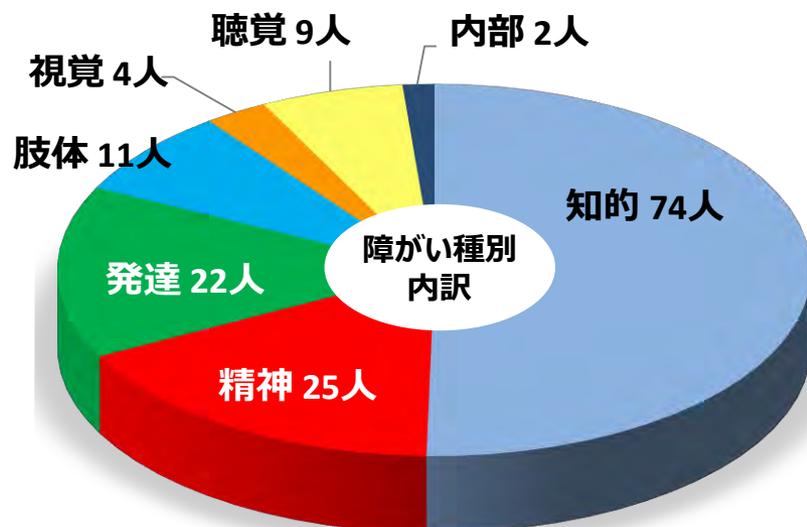
## 平均勤続年数

## 6年7か月

◆永年勤続表彰者(10年表彰)  
= 88人  
2015年 東京24名 岡山6名  
2016年 東京10名 岡山8名  
2017年 東京12名 岡山15名  
2018年 東京10名 岡山3名

(指導員) 障害者職業生活相談員 69名  
企業在籍型ジョブコーチ 24名 (相談員と重複)

\* 正社員、契約社員に出向社員含む



## ビジョン

ベネッセビジネスメイトは、障がい者雇用の特例子会社としての役割を果たしながら、**その事業領域において市場競争力をもつ自立した会社となり、ベネッセグループや社会にとってなくてはならない存在となることをめざす。**  
また、ベネッセグループ障がい者雇用支援の役割も果たしていく。

## 人材育成方針

ベネッセビジネスメイトの主たる事業は「人」の力を中心とした事業であり、「人」こそが最も大切な資産です。働く意欲を持った人に対して、**個人の持つ能力や適性に応じて活躍できる場を提供します。**  
またお互い理解し協力できる自立した人材・向上意欲を持って努力し続ける人材を育てます。そして社員一人ひとりの力が発揮できる組織を目指します。

グループの事業成長を支援

自立した会社としての継続的な成長

障がい者の雇用拡大

グループ障がい者雇用推進

シェアードサービス  
機能子会社＝業務のプロフェッショナル

市場競争力のある事業の確立

障がい者の安定雇用  
市場で戦える人材育成

グループ会社の障がい者雇用事務局＋各社支援機能

業務領域の確立・深化

協力し合える風土

品質アップ・適正コスト

社員が成長できるしくみ

働きやすい環境・基盤

## ①障がいのある社員が「戦力」となる業務の開拓・変革

- ・障がいのある社員ができる業務領域の拡大
- ・シンプルな業務設計（楽ジョブ）  
⇒品質・コストに妥協しない業務のプロフェッショナルへ



## ②社員がやる気が出る制度・体制

- ・人事制度、人材配置
- ・支援体制（指導員、キャプテン）
- ・研修体系（入社時・定例研修）
- ・人と仕事のマッチング（実習、異動）

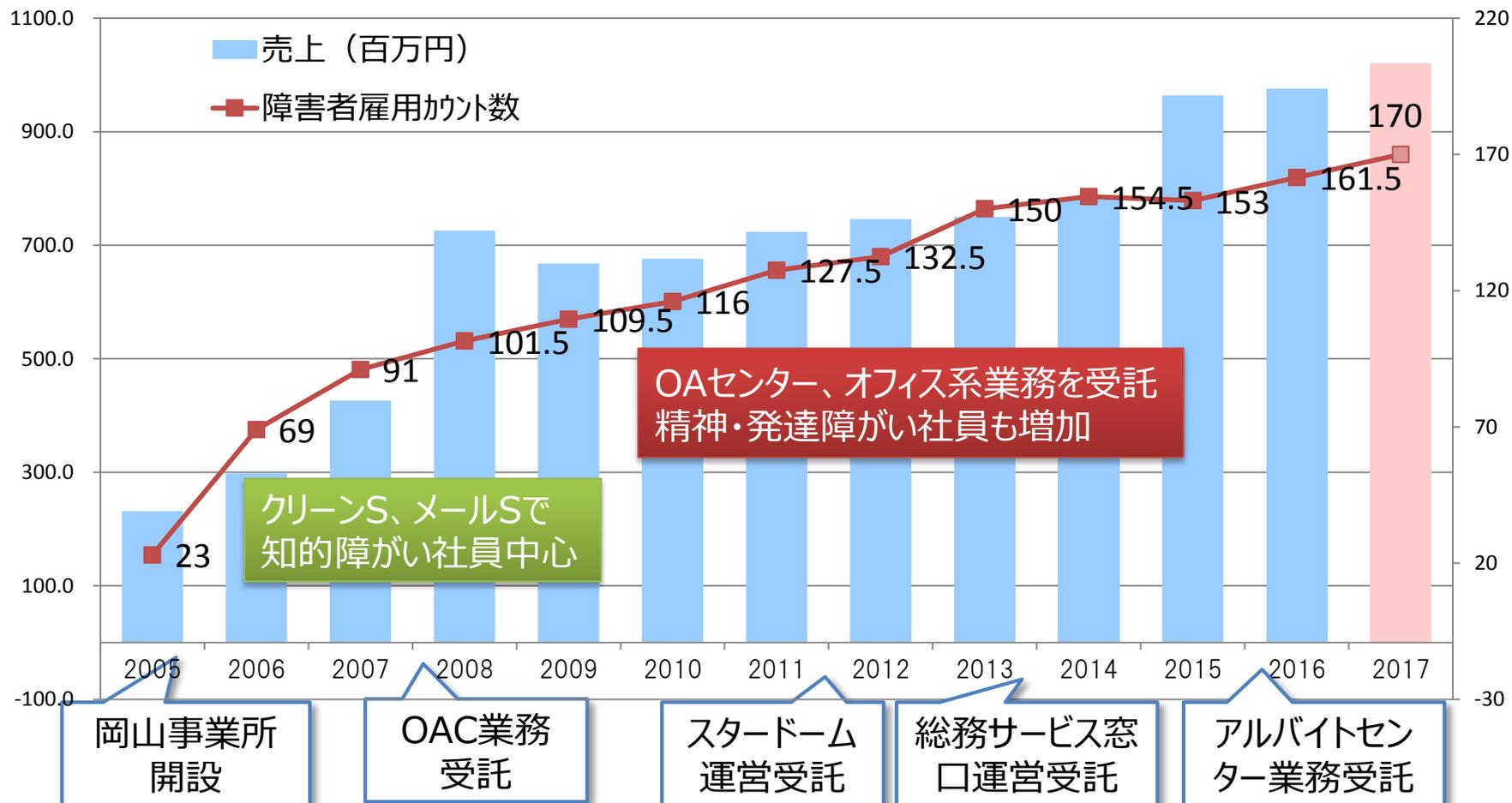
## ③障がい者が長く、働きやすい環境・風土

- ・障がい者が働きやすい職場環境、ツール
- ・一体感・協力し合える風土（クレド、社員旅行・イベント・アビリンピック）

# ①業務の開拓・変革

## 売上と障がい者雇用状況推移

- 2005年の設立時～ 作業系業務を中心に外注業務を内製化。その後、拠点および業務範囲の拡大
- 2014年以降 総務系シェアードサービス業務（本体内）の受託を増やし、精神障がい・発達障がいの社員を雇用拡大



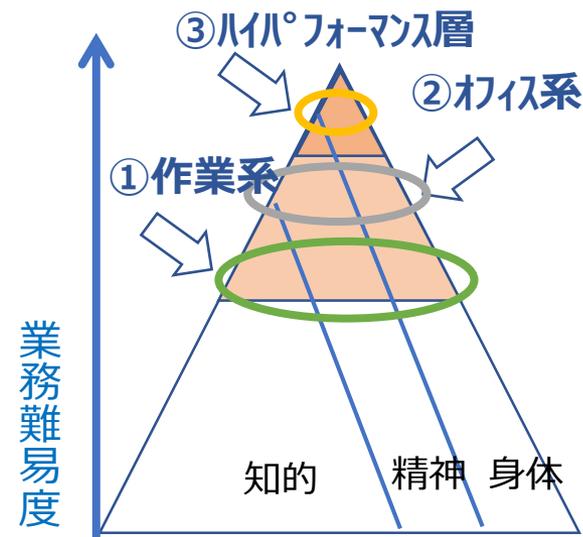
# 業務受託拡大の考え方

## 1. 障がい者に適した業務領域とは・・・

- 個人の強みを生かせる業務（弱みがあってもできる業務）
- 難易度の高い判断を伴わないシンプルな業務
- できるだけ協力体制がとれる業務（人に張り付かない業務）

### POINTS

- ・その人の特性と仕事のマッチングができるか。
- ・働きやすい環境・制度を作ることによって「できる業務」は拡大する。



## 2. 業務領域の作り方・・・

- 外注している業務、社内でやっている派遣社員やアルバイトの業務を切り出す = **業務受託**
- 専門性が低い業務、ノンコア業務を受託する。 = **業務受託**
- 工程を見直し、人の特性に応じて工程ごとに担当を分ける = **業務変革**
- 工程を見直し、シンプルにして難易度を下げて切り出す = **業務変革**
- 仕事のやり方、体制を見直すことで、できる業務が増える = **働きやすいしくみ・体制**

### POINTS

- ・業務を担当者ごと受託して、少しずつ障がい者に切り替える
- ・仕事をシンプルにする業務設計力が必要

## 事例 ベネッセビジネスメイトOAセンターの場合

「業務完結型」（コピーから後加工までを1人で完結させる）

→業務工程を細分化し、個人の特性・強みに合わせた

「適正配置型」へ移行。

各工程をチーム制にして相互協力体制へ

**（結果）** 2008年健常者18名+障がい者2名の組織でスタート

→2018年健常者7名+障がい者15名の**多様な障がい者が働く組織に移行**



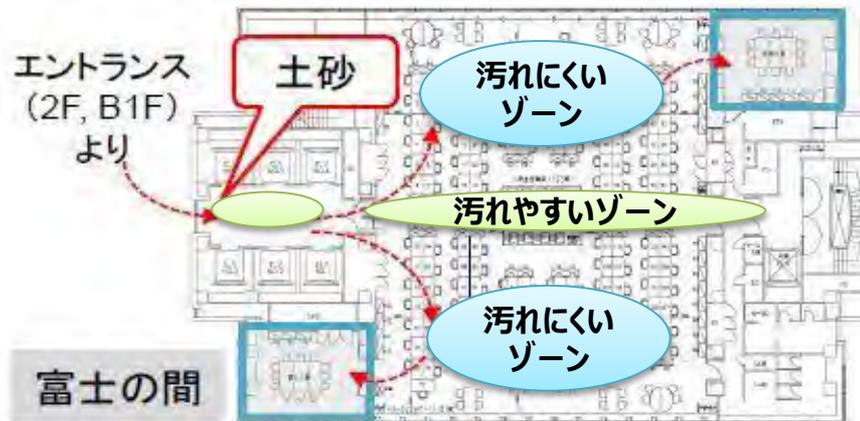
業務	受付	コピー・データ出力	検品	後加工	梱包・発送	課金
業務内容	お客様への提案、交渉など様々な折衝を行う	多種多様なコピーがあり、正確性が求められる	濃度・色合い・仕様をチェック。経験と集中力が必要。	大量の折りや製本などは複雑。器用さ・持続性が必要。	部数を確認しながら箱・袋に詰める作業。	依頼票をシステムに入力する。
担当	リーダークラス	内部・聴覚・精神・発達	内部・聴覚・精神・発達	知的・精神	知的・精神	視覚

# 業務変革 = 正しい清掃方法と資機材の導入

正しい清掃方法と資機材を使うことで、障がい者でも、業務の効率化、品質アップを実現する。

汚れのメカニズムと正しい清掃方法

## ゾーニングと適切な清掃方法



## BEFORE

## AFTER

最適な資機材

床清掃

タイル床...自在ほうき&ダスタークロス (掃き)  
糸モップ (拭き)  
階段...背負い型掃除機



床...マイクロファイバーモップ



階段・執務フロア...コードレスクリーナー



外周清掃 (枯れ葉など)

竹ほうき+チトリで枯れ葉とり



手動式のスイーパーで生産性アップ



アップライトタイプドライクリーナー



カーペット清掃

だるま掃除機でカーペット清掃



バッテリー式カーペットスイーパー



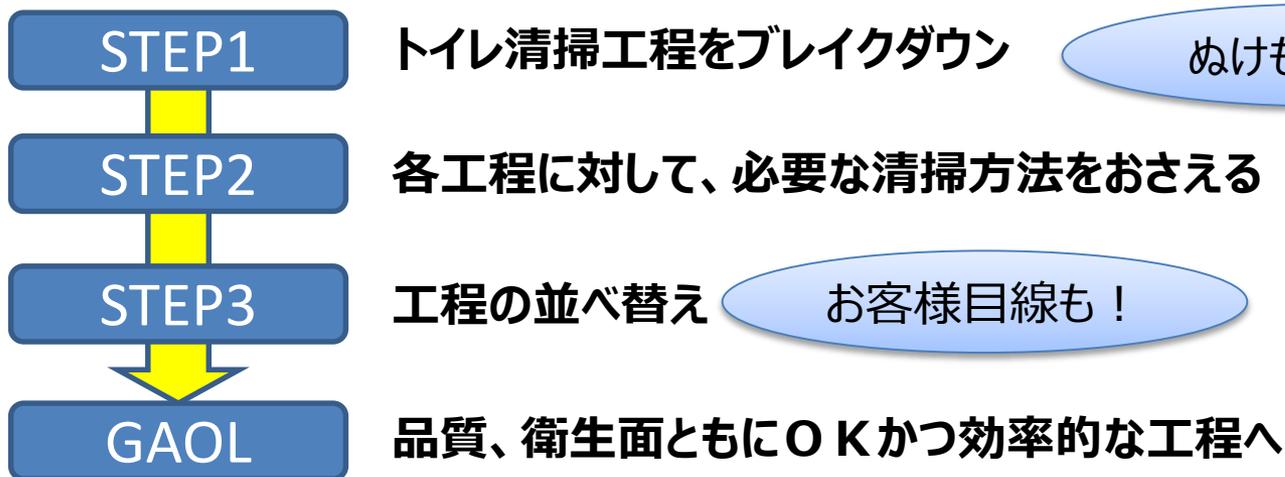
スーパーパイルブラシー 定期的清掃に使用



汚れが少ない所はコードレスクリーナー



業務工程・設計を見直し、障がい者でも働きやすいシンプルな業務を実現する。



ぬけもれなく！

お客様目線も！

社員の動き、  
動線も検討



## 1) 業務の効率アップを実現

- ①手袋の付け替えがなくなった
- ②作業動線に合わせて、立ったり座ったりの無駄をなくした
- ③アルカリオン水活用で「拭き+除菌」を1工程で完了  
洗剤を使わないので人にも環境にも優しい

## 2) 品質アップも実現

- ①除菌の徹底を実現
- ②お客様にとっても社員にとっても衛生的で安心できる手順

### ● 時間短縮 + 負荷軽減

苦手な社員も短時間で  
対応可能に

### ● 採用、育成の負荷軽減

採用できる層が拡大

### ● 品質アップ実現

2016年よりグループ会社の業務を一括受託し、障がい者数、障害者層を拡大。

(株)ベネッセソシアス ※ソシアス=ラテン語で「仲間」

- **場所**： 本社 東京都多摩市落合一丁目  
稲城センター 東京都稲城市押立
- **資本金**： 3500万円  
(ハネッセビジネスパートナー51% ハネッセスタイルケア49%の共同出資)



稲城センター

### 稲城センター(就労継続支援A型事業所)

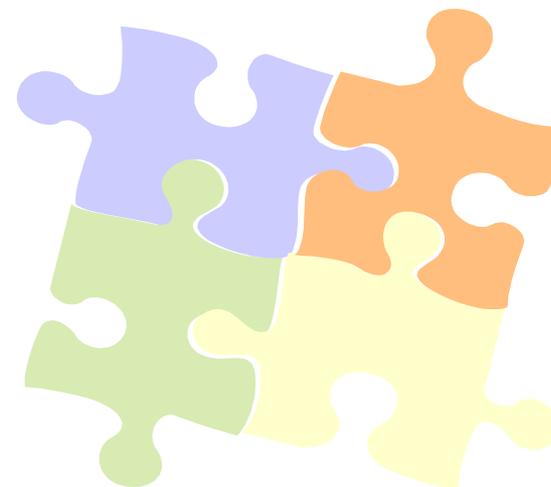
- **業務内容** ハネッセスタイルケア運営の介護施設ご入居者私物・タオル等の洗濯・乾燥・たたみ
- **稼働時間** 月～土。8:30～17:30 ※障がい者の勤務は10:00～17:00が基本
- **雇用数** **2017/9現在28名** →安定稼働時36名。2016/10に稼働スタート
- **設備** 洗濯機 (35kg) 8台 乾燥機 (35kg) 15台

### 事業開発のポイント

- 安定的・継続的に確保でき、拡大展開が可能な業務。
- 雇用する障がい者の層をもっと拡大できる業務、やり方。  
= 障害者がやりやすい業務  
= 指導・支援しやすい集約型に。

- 介護施設の私物洗濯を事業とする。(安定・機械化が困難)
- 就労継続支援A型事業所(雇用型福祉サービス)として運営  
障がい者=福祉サービス利用者=従業員

## 切出した業務に合う障がい者を確保する = 人と仕事のマッチング



### 採用時の ポイント

- 仕事に合う人材の採用（マッチング）
- 働く準備ができているか。

生活の安定、働く体力・・・

- 職場環境に合致する人材の採用

職場の風土、組織

※会社が弱みを持っている人を受け入れるキャパがあるか。

### 採用方法 事例

- 実習を重視 = 採用前提の実習または体験実習

会社、本人にとって確認の場となる。

- アルバイトからの採用 → 正規雇用へ

人事制度を変えない、採用のハードルを下げる、後から適正配置

- 短時間での雇用からスタート

フルタイムへの助走期間、短時間労働での雇用

- 支援機関との連携

働く準備の支援、業務マッチング、定着支援

生活上の困りごととも就労継続に大きく影響します。早めに気付いて解決策を一緒に考えていくことが必要です。

支援機関、医療機関の方々、学校、ご家庭との連携が不可欠です。

★通常のマネジメントは各所属部門で行うが、支援機関との窓口・研修運営などは定着推進課担当がサポートする。

## ベネッセビジネスメイト

所属部門  
上司

定着推進課  
担当

産業医  
保健師

各機関、関係者との連携

## 家庭

家族  
グループホーム  
通勤寮

## 支援機関

障害者職業センター  
就業・生活支援センター  
就労移行支援事業所  
相談支援事業所 など

特別支援学校  
障害者職業能力  
開発校

## 医療機関

障がいのある  
社員

# 個々の状況に合わせた研修制度

個人の状況に合わせた定期的な集合研修、指導者・管理者向けの研修などでレベルアップを図っています。

等級	入社時 共通	個人・組織の力を発揮し成果を出す力					実践的専門知識 業務スキル
		コミュニケーション力・仕事力	研修	勉強会	外部研修	マネジメント力	
管理職クラス							<b>専門業務ごとに計画</b> (外部研修や社内勉強会) 清掃・総務・ロジスティック・ 印刷・データ加工 など
指導員クラス	ビジネスマナー研修 障がい基礎理解研修	ビジネススキルアップ研修 (年1回)	業務遂行力アップ ブラッシュアップ研修	指導員研修年1回 新任・初任指導員研修	ジョブサポート会 月1回 (東京・岡山合同開催 年2回)	障害者職業相談員講習 2号JC養成研修 社外セミナー	
一般社員						管理職・リーダー研修 年1回 新任制度・評価	

指導力

### ●『見える化』の推進

<メールサービス課>



個人個人の1日のスケジュールもひと目でわかるように。



<クリーンサービス課>

手順の確認も絵でわかりやすく。

### ●就労支援機器の導入

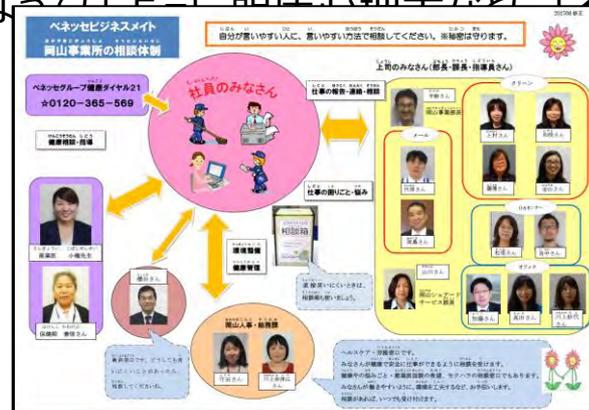
必要に応じて、拡大読書器や画面拡大ソフト、ブギーボード、お知らせライトなど、就労に役立つ機器を導入。



### ●いつでも相談できる体制の整備

相談体制図を掲示。相談しやすいように「相談箱」設置。

不調者が出た場合は、指導員、定着推進課、場合によっては上司、臨床心理士やビデオ面談を実施。



# 一人ひとりのチャレンジの推進、一体感の醸成



アビリンピック（全国障がい者技能大会）スポーツ大会などいろいろなイベントにも積極的に取り組み、一人ひとりのチャレンジを積極的に支援しています。また、会社見学・実習の受入れ、セミナー講師・協議会への参加も引き受けています。



	部門	受賞歴(2年)
岡山	ビルクリーニング	●2017年 銀賞 ●2018年 金賞→全国大会出場
	オフィスアシスタント	●2017年 金賞→全国大会出場 銅賞 ●2018年 金賞→全国大会出場
	表計算部門	●2017年 金賞→全国大会出場
	縫製	●2017年 銅賞
	喫茶サービス	●2018年 銅賞
	製品パッキング	●2018年 銀賞
東京	喫茶サービス	●2017年 努力賞 ●2018年 銀賞
	オフィスアシスタント	●2017年 金賞→全国大会出場 銅賞

ティーボール大会(東京) などいつもオリジナルTシャツで参加しています。



障がい者ワークフェア



社員イベント



東京メール、OAセンターのエプロン

## 「クリオ」(Corporate Relationship In Okayama)

2017年7月「障がい者雇用を積極的に進めたい、岡山の障がい者雇用をもっと拡大したい。」そんな思いを持った企業が集まり、情報やノウハウの共有、勉強会などを行う岡山障害者雇用企業の研究会が発足しました。

地域の特別支援学校、A型事業所と連携での障がい者雇用の活性化をめざしています。

- 参加者 岡山市を中心とした障がい者雇用企業（2018/7現在21社）  
特別支援学校9校（指導主事の先生方）
- アドバイザー 全Aネット、山陽新聞社会事業団、岡山県教育庁特別支援教育課  
岡山県OT(作業療法士)協会、岡山県PSW(精神保健福祉士)協会
- 事務局 岡山障害者就業・生活支援センター

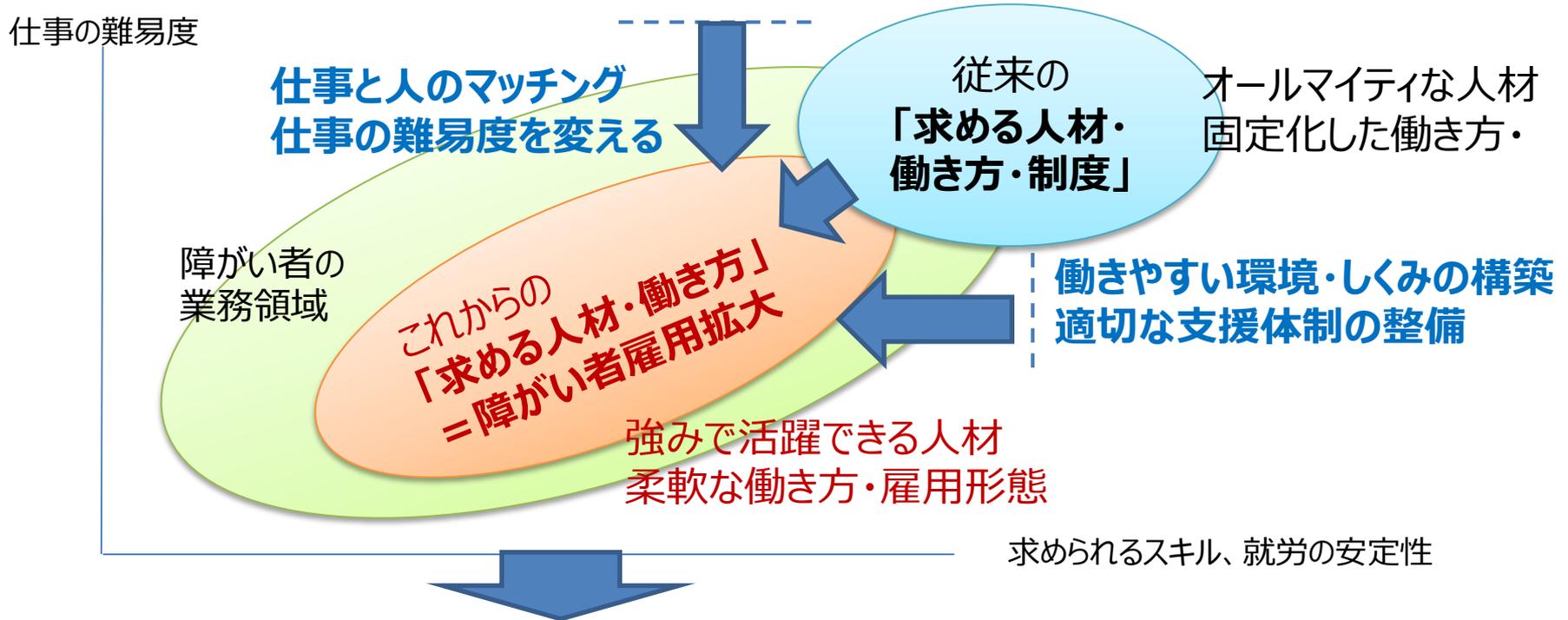
### 全体会

- オープン会議 = 年4回開催（6月、9月、12月、3月に開催）
- グループディスカッション = 提供された話題をもとに少人数でのディスカッションを実施する。

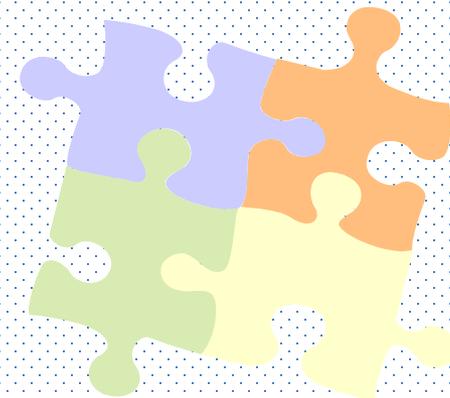
### プロジェクト活動

- 企業・特別支援学校・支援機関・医療機関のプロジェクトチームで活動を行う  
= 研修会・勉強会、実行企画(テスト企画など)、講演会などどんな活動でも可。
- 精神障がい者の支援・定着の方法
  - 障がい者の育成・キャリアアップ（ステップアップへの取り組み）
  - 学校と企業の連携による就労支援（学校でのキャリア教育など）

# 人・仕事・環境を見直し、「求める人材・働き方」を変えていくことで障がい者雇用は拡大できる。



- 障がい者のできる仕事の幅が広がる
- 仕事ができる障がい者層が広がる
- 障がい者が長く働ける会社へ



これからも常にチャレンジしながら、  
さらなる障がい者雇用の実現をめざしていきます。

はたらく、  
かがやく、  
未来をそだてる



双葉は「伸びる可能性」、光は社内の明るさ・元気さ、そして人と人の協力（握手）を表現しています。